

2019—2020年度 Vol. 10  
ガバナー月信

4 月号



Rotary International District 2570  
GOVERNOR's MONTHLY LETTER  
Vol.10 April 2020



## 母子の健康月間

予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリー会員は考えます。

# 苦難な状況にあっても私たちは将来に希望を見出して明るく向かっていく

国際ロータリー  
第2570地区ガバナー  
鈴木 秀憲

吹上

この文章を書き始めた3月前半は二十四節気では「啓蟄」と言う。此の辺位迄は分かるが、詳しい分類は分からない。約5日おきに分けて気象の動きや動植物の変化を知らせるのが七十二候と言ひ、3月5日頃は蟄虫啓戸(巣ごもりの虫、戸をひらく)、10日頃は桃始笑(桃始めて咲く)、15日頃は菜虫化蝶(菜虫蝶となる)と言うのだそうだ。もう少し続けよう3月後半は二十四節気では「春分」、これは誰でも知っている。七十二候で20日頃は雀始巢(すずめはじめてすく)、25日頃は桜始開(さくらはじめてひらく)と言うのだそうだ。いずれにしても寒い冬から脱却し、暖かさと共に生物が眠りから覚めて動き出す。1年の内で大変嬉しい時期だ。

しかし本年は事情が大きく違っている。本年に入って騒がれ出した新型コロナウイルスの脅威は、2か月ほど経過し更なる拡散を続けている。メディア報道によると、17日現在150の国と地域にて17万人が感染しているとの事。この広がりには1週間後には、1か月後にはどのようなようになって居るのだろうか？誰も想像出来はしない。

これに対する医療的対処法(治療・予防)が確立されていない現在、我々に出来る対処法は感染しない・感染させないという感染の遮断くらいしか考えられない。であるなら、我々一般市民は一致協力して感染の遮断を行うべきと考える。

感染の遮断の一方法として、学校の臨時休校や入国者への制限措置が発表された。我々市民は、それ等への前向きな対処法を夫々が考え、実施すべきと考える。しかるに昨今のメディアを通じて報道される事に、所謂コメンテーターの多くが、とかく措置によって生ずる不便や不満を多く取り上げている現況は如何なものかを感じる。

話は若干前後するが、当地区大会開催への影響を懸念していたところ残念な事に、3月5日、地区大会開催予定地である行田市にて住民が新型コロナウイルスに感染した事が発表になり、翌日そのご家族にも症状が現れたとの事。ご家族は市内各地で活動されていた事から、地域での感染の拡大が懸念され、市域での各行事が中止せざるを得ない状況になって来た。

扱、それは兎も角、国際ロータリーは、その重点分野の重要な一つに「疾病予防と治療」を掲げ、1988年以来、WHOやUNICEFと共にポリオ撲滅・根絶に注力し、30年余り経った今日ポリオは間もなく根絶出来る状況に迄なって来た。(世界に於ける年間発症例数は1988年当時世界で年間35万程有ったものが、2017年には年間で22名、2018年には年間で33名、2019年は年間173名になった。2019年に三桁となっている理由は、ワクチン接種を拒否する人が依然として多い事、またSNS等で流れる誤った情報でポリオワクチンへの恐怖心が煽られている事と云われている。)

ロータリーは、このような活動を行っている団体である。「疾病予防と治療」と言う観点から間違ってもロータリーが新型コロナウイルスの感染ルートになってはいけないと考えて居る。

これらを勘案し、諮問委員に地区大会開催の是非についての意見を伺った上で、本年4月18・19日に開催予定していた当地区大会は、残念ながら中止する事と決断させて頂いた。中止ではなく、縮小しての実行や延期等も考えたが、地区大会は地区内全員が集まる事に意義があり少人数では意味が少くない事から縮小は考えられず、当年度末に近く、1~2か月程で感染が収束出来るかの見通しが見えないままの延期も避けることにした。

これまで準備にご尽力下さった各位に、ご協力への御礼を申し上げます。有難うございました。

地区大会自体は中止としたが、決議を必要とする事については書類にての採決を頂き、発表事項は書類を送付し、又、1クラブ1分の発表も何らかの方法で取り纏めて発表をしたいと考えている。地区委員会や各クラブの引き続きのご協力をお願いします。



と、ここまで書き上げた昨12日(現地時間11日)、WHOは新型コロナウイルスの感染拡大について、世界的な流行を意味する「パンデミック」の状態だと認定した。発表がいささか遅かったのではないかと指摘に対して「これまで必要以上の恐れやパニックを招きかねないことから、パンデミックと呼ぶことを慎重に避けてきた。とりわけ、感染拡大は防げないと解釈され、ウイルス封じ込めの取り組みが弱まることを懸念していた」との事だ。

それは兎も角、WHOの発表を受けて、14日国際ロータリーも現会長・次期会長が連名でコメントを「国際ロータリーは国連との協力関係に焦点を置いた二つの会長主催会議(それぞれパリとローマが開催地)を中止するという困難な決定を下しました。また、ロータリー地区とクラブには、国や地元の保健当局の勧告に従って、近く開催予定の会合や行事を中止または延期することを推奨しております。」と発した。

この事については表現に多少の差異はあるが、既に2月27日に各クラブ宛にガバナーとして発信しているところだ。ここで、敢て記述したい事は、「このような状況下において、ロータリアンがどのように振舞うのか?」

という事だ。世間の一部では流言が実しやかに流布されたり、生活必需品が買い占められたり等と云う現象が起き、慌てている向きが多くみられるが、このような時にこそ、我々ロータリアンは、「四つのテスト」や「中核的価値観」に従った行動をお取り頂くよう、強くお勧めをします。

繰り返し申し上げますが、新型コロナウイルスへの治療や予防の手立てが確立されていない今、感染ルートとなる事を避けることが一番大切なのだ。学校閉鎖は、直接的に子

供達を守る事は当然だが、感染ルートを断つという意味で重要な事なのだ。「子供の感染は低いのに学校閉鎖をする事はおかしい。」等と批判する方も居るが、子供から大人へ感染し、特に高齢者が命を落とす恐れがある。だから学校は閉鎖するのだとご理解頂きたい。

今、我々に出来るただ一つの対策が、ロータリーの行事が感染ルートにならない事である事を明記しておく。

※この文章は、3月20日現在の状況に基づいた内容です。

## 扱、今月は母子の健康月間です。

予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、ロータリー会員は考える。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、ロータリーは支援活動を行っている。原因の多くは栄養失調や適切な医療・衛生設備の欠如等で、国際ロータリーはこれ等の解決に努力をしている。ご協力をお願いします。

### 追記

新型コロナウイルス感染と言う未曾有の事態、しかも刻々と変化している今、この事に触れる事は大変困難な事であり、記述は避けたいところだが、看過する訳にも行かない。従って、敢てこの話題を取り上げた。日時が前後している部分があるが、文脈の都合とご理解頂きたい。

又、現在直面している事項に青少年交換学生の帰国問題がある。ヨーロッパでの爆発的感染が広まる前に、帰国勧告を行ったが、実感していなかった様で、来日学生にも派遣学生にも、夫々残留希望が多かった。10日頃からヨーロッパでの感染が一気に表面化し、急に帰国希望の気持ちが強くなり、その意向で関係者各位が動いているが、17日現在に帰国出来た学生もいるが、出来ていない学生もいる。関係委員会の方々と連絡を取り、最善の方法を模索・実行しているところだ。

4月号がお手元に届く頃には、今触れている危惧が消滅してしまう事を願って。





第2グループガバナー補佐  
松川 厚子

和光



2020年2月15日(土)13時30分から志木ベルセゾンに於いて第2グループIM(Intercity Meeting)が開催されました。第1部式典では、まず開会に先立ちこの1年間で亡くなられた7名の物故会員に黙祷が捧げられ、冥福をお祈りいたしました。点鐘後鈴木ガバナーがご挨拶、穂坂衆議院議員がご祝辞を述べられました。そのあと勝瀬次年度ガバナー補佐の紹介及び挨拶、地区大会のご案内を執行委員長の茂木正バスターガバナーがなされ式次第に従ってつつがなく終了し休憩になりました。

IMのテーマである「国際交流について」では、パネルコーディネーターに県立高校で教鞭(担当は英語)をとられたのち、さいたま市の国際交流課の主幹をなさっていた利

根川恵子さんをお願いしましたが、各クラブの国際奉仕活動の発表では、朝霞キャロットRCの識字率向上支援のための不要眼鏡のスリランカへの寄贈や、朝霞RCが台湾の姉妹クラブである宜蘭RCと交流した歴史をPowerPointで発表し、また志木RCはロータリー財団の奨学生でバリ在住の大沢悠子さんが実際の奉仕活動で路上オペラのピアノ伴奏をしている動画を発表しました。和光RCは、創立39周年記念例会に台湾の台中台屯RCを招待した時の写真や和光国際高校の生徒が台中台屯RCの会員宅にホームステイした時の新聞記事や会長幹事が台湾の台中市庁舎を訪問した時の写真などをまとめました。それらに利根川さんの素晴らしいアドバイスと提案が加わり、これからの国

際奉仕の方向性が示唆されました。最後の鈴木ガバナーの総評も利根川さんへの感謝をのべられたものでした。私こそガバナーへ感謝の気持ちで一杯です。これも大澤実行委員長はじめ高木会長、鈴木幹事、阿久津副実行委員長の和光RCの皆様のお陰です。事務局にも大変お世話になりました。

第2部の懇親会は、大沢悠子さんの美しいオープニングのピアノ演奏があり、いつもお世話になっています坂本バスターガバナーの乾杯、名誉会員の松本和光市長のご挨拶で始まりしました。そのあと和光太鼓の圧巻の演奏があり、無事閉会しました。第2グループの他のRCの皆様もロータリー希望の風奨学金の委員の皆様もご協力ありがとうございました。





### 地域に咲かそう奉仕の花

第5グループガバナー補佐  
新井 啓介 



講師:川内 優輝氏



2月24日、石井行田市長はじめ多くのご来賓と、鈴木ガバナーはじめ多くの地区役員のご臨席の中で、第5グループIntercity Meetingが開催されました。第5グループは、熊谷、行田、羽生、加須近郊の10クラブ、会員総数約380名です。新型コロナウイルスの流行で開催も危ぶまれる中、感染症対策を図りながらの開催となりました。

私は今年度第5グループ・ガバナー補佐として各クラブを訪問させて頂いておりますが、それぞれのクラブが、地域に根差した奉仕活動を実施しております。

クラブごとに、その一部をご紹介しますと、熊谷RCは、少年野球大会。行田RCは、スクールバンドフェスティバル。羽生RCは、世界キャラクターさみっとin羽生。加須RCは、加須こいのぼりマラソン。熊谷西RCは、児童ソフト

ボール大会。行田さくらRCは、さくらの植樹・保全活動。熊谷東RCは、剣道大会。吹上RCは、青少年サマーキャンプ。熊谷籠原RCは、わんぱく相撲。熊谷南RCは、千年桜事業・ムサシトミヨの保護活動。等々、主催や積極的な協賛をしています。

IMのテーマ『地域に咲かそう奉仕の花』は、正にそうした奉仕活動のことです。各クラブが、公共イメージと認知度の向上のためにも、それぞれの地域で、必要ないろいろな奉仕活動を実施することで奉仕という花を咲かせています。

今年度のインターシティ・ミーティングでは、この地域に共通するシティマラソンを取り上げました。最近のマラソンブームは、市民マラソン大会の参加者の増加と地域の活性化に繋がっています。四つの地域の市民マラソンを4クラブの会長にご紹介をして頂き、プロラン

ナーの川内優輝さんにも聴いていただき、引き続き講演をして頂きました。川内優輝選手からは、四つの市民マラソンの紹介についての感想も頂きました。講演は、「マラソンキャラバン～地域貢献～新たな取り組み～」と題し、地域マラソン大会とマラソンキャラバンを結びつけることによる大会の盛り上げ、市民との交流、マラソンの裾野の底上げなどの地域貢献活動が紹介されました。4月の福島県川内村での川内の郷かえるマラソン、6月の隠岐の島ウルトラマラソンなど、ほぼ毎月マラソンキャラバンを行っているようです。招待選手、ゲストランナー、マラソンキャラバンとの違いなども説明してくれました。また、アジア、アフリカなどの海外のマラソンにも参加し、国際親善交流も積極的に行っているようです。国際親善交流と地域活性化、ロータリーにも通ずるものを感じました。講演後の懇親会にも同席頂き、楽しいひと時を一緒に過ごすことができました。懇親会のアトラクションミュージックの弦楽四重奏も、心和ますひと時を演出できたものと思っています。

感染症対策の関係でプログラムの一部短縮変更させて頂きましたが、研修と親睦のすべての事業が実施でき、意義有る一日でした。参加者の皆様、ホストクラブの会員皆様のご理解ご協力で感謝いたします。



相原ガバナーエレクトご夫妻と、RI会長エレクト ホールガー・クナグご夫妻

## 国際協議会に参加して

1月19日から25日まで米国カリフォルニア州サンディエゴで2020年国際協議会が開催されました。世界中から518名のガバナーエレクトとそのパートナー 392名が参加。日本からも34地区の全ガバナーエレクトとそのパートナーが出席いたしました。

目的は次年度に向けてエレクトが必要とする情報やスキルを学び、次年度に向けた準備

をする研修会合です。

国際協議会は、Rotaryは正に「世界のRotary」であることを、改めて十分に再認識させるものでありました。世界中から多くの人種が、それも地域を代表するリーダー達が一同に揃い、一緒に勉強し、食事をし、懇親を深め、価値観を共有する機会、まず他には無いでしょう。

ガバナーエレクト  
相原 茂吉

川越

今回国際協議会に出席し、私はこれからの人生において、多くの扉を開く事が出来ました。

まずは、このような素晴らしい世界会議に出席できたことは、第2570地区の皆さんが私をガバナーエレクトとして認めてくださったお陰です。この経験によって間違いなく私の世界が広がりました。

そして、自分がガバナーとしてこれから皆さんと共に地区を盛り上げていく使命を負う立場になることは、いろいろな人と出会い、そして一緒に行動する機会を、たくさん与えてくれるでしょう。この機会の扉は、奉仕の理念に基づいた、充実したすばらしい「とき」への招待であると確信します。

## 公共イメージセミナー



2月2日(日)紫雲閣にて第2回公共イメージセミナーを開催しました。私達は組織や団体にとって最も重要な事は世の中に知られる事、評判が良い事と理解しています。鈴木秀憲ガバナーは第1地域公共イメージコーディネーターでこの分野では知見豊かな第一人者であるので、委員会としても効果を挙げたいと考えております。ガバナーは2019年10月24日ポリオデイに当たって隣の2770地区と



共同で読売新聞にて「ロータリーとは何か!」ポリオ撲滅にロータリーが世界的に活動していることを世に知らしめました。公共イメージ委員会としては認知度の向上の為に今後の活動を次のように(3テーマ)考えています。

①各クラブでロータリーの認知度のアンケートをしていただきたい。②2570地区にCATVの関係者が多いのでこれをツールに情報発信をしたい。③地区大会に向け大野

公共イメージ委員会委員長  
西澤 堅

川越



知事と鈴木ガバナーの対談を行い新聞紙上に於いてロータリーの活動を報告し会員増強を訴えたい。

セミナー当日はこの3案についてご出席の会員と議論しました。熱い意見も多く公共イメージの重要性を共有しました。そして結論は出ませんでした。2月29日までにこれらの案についての各クラブの考え方をお聞き前向きに行動する事になりました。



# ロータリー研修セミナー報告

研修委員会研修担当  
栗山 昇

朝霞



国際ロータリー第2570地区研修委員会は、去る令和2(2020)年1月25日(土)にガバナー補佐・クラブ研修リーダー・入会5年未満の会員等約80名の参加を得て紫雲閣(東松山市)にて標記の研修セミナーを下記の演題の下に主催しました。

## 1. 2019年規定審議会のクラブ運営に関する主な制定案について

### 坂本元彦2019年規定審議会地区代表議員

規定審議会提出立法案数は117件、内採択47件(内、日本は25件、内採択6件。国別提出件数RI理事会に次いで第2位)。採択された主な制定案のうち、クラブ運営、例会と出席、会員、ガバナー選挙、地区運営、国際ロータリー、人頭分担金、理事会見解表明案などについての詳細な説明、及び2022年規定審議会に向けての案内がありました。



## 2. 手続要覧から学ぶロータリー問答

### 栗山 昇 RI2570地区研修委員会研修担当、RI2570地区戦略計画委員会委員

規定審議会制定案の手続きの紹介とともに、内容が簡略化されている現在の「手続要覧」からは読み取りにくいロータリーのキーワードについて「ロータリーいろは問答」を用意し紹介しました。設問計40問は、本セミナー資料として当日お渡ししてありますので、クラブでの報告や卓話、フォーラムなどを通じてロータリーへのよりよき理解のためにご活用ください。



## 3. 総評:ロータリーの基本的な知識について

### 加藤玄静RI2570地区研修委員会委員長 2013年規定審議会地区代表議員

RI2570地区研修委員会は、研修セミナーとロータリー・リーダーシップ研究会を中心にすえ国際ロータリーから常に発信されている情報を紹介しているので、各クラブにおいては次期理事役員研修・会員研修・新会員研修などを開催し、情報を常に意識化し、改正すべき点は規定審議会に決議案として提出してほしいとの総評がありました。



※「質疑応答」において、「『真の友人というものは互いに何物をも要求するものではないし、利益のために友人間の信頼を乱用することはロータリーの精神から遠くかけ離れたものである』という『ロータリアンがロータリーを営利目的で利用することを禁じた国際ロータリー理事会決議』がいつなされたものなのか」というご質問がありましたので、以下のように回答と脚註、及び参考を附します。

・回答:本理事会決議は、モナコで開催された1982-83年度理事会における決議です。

・脚註:本決議は、1915年に採択され1980年規定審議会でRI細則から削除された「ロータリー道徳律第8条」が「ロータリアンの職業宣言第8条」(89-148)として1989年規定審議会にて採択され、再び高く掲げられる最大の契機となった決議です。この年度の国際ロータリー会長は向笠廣次氏(RI2630地区・中津川IRC)。この決議には、今なお根強く残る互惠主義を排し、「自らを高潔たらしむべし」とする日本のロータリアンの高い精神と強い意志の血脈をみてとれましょう。

参考1:ロータリー道徳律 第8条

(1915年:Code of Ethics)

真の友人とは、互いに何等求める所のないものである。されば利益のために友情の絆を濫用することは、ロータリーの精神に反するのみか、この道徳律を冒瀆するのである。

参考2:ロータリアンの職業宣言 第8条

(1989年:Declaration for Rotarians in

Businesses and Professions)

事業又は専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。



# 第6回オリエンテーション報告

青少年奉仕委員会  
青少年交換小委員会委員  
吉田 真人

深谷

## 近代日本経済の父 渋沢栄一翁の勉強、日本伝統の節分祭への参加

彼らのみずみずしい感性溢れる  
全文をぜひご覧ください。

WEBを  
Check!

2月3日 渋沢栄一翁の勉強会・瀧宮神社(深谷市)節分祭に参加をいたしました。  
交換留学生7名(イン4名・アウト3名)、交換委員、ローテックス計15名の参加でした。  
日本の文化風習を勉強し、インバウンド・アウトバウンド共に、これからの国際交流に役立てることを期待いたします。今回次年度派遣予定の生徒3名の感想文を紹介いたします。約半年のオリエンテーションですが、生徒の派遣生としての、自覚ができてきたことに、安心いたしました。



渋沢栄一さんの歴史について学びました。彼は海外交流をしていてとても凄い人なんだなと思いました。私もとても小さいですが日本と海外を繋げられる架け橋を作りたいと思いました。



第50期派遣候補生 スポンサークラブ  
**弓田 詩愛里**  
(武蔵越生高等学校) **越生毛呂**

渋沢さんは女性に教育を受けられる環境をつくるという思いで日本女子大学を創設したと聞き、江戸時代末期からすでにそのような思想が生まれていたことに感動しました。



第50期派遣候補生 スポンサークラブ  
**望月 はる香**  
(大妻嵐山中学校・高等学校) **小川**



とてもいい経験で、そしてとても楽しく面白かったです。「楽しい」や「面白い」で終わらせず、フランスに行ったときには学んだことや貴重な経験を周りの方々にたくさん伝えたいと思います。



第50期派遣候補生 スポンサークラブ  
**新嶋 里奈**  
(大妻嵐山中学校・高等学校) **東松山むさし**





## 2570地区内グループ紹介／第4グループ

第4グループ皆様には公式訪問・補佐訪問等をはじめ大変お世話になりました。地区皆様にも併せて厚くお礼を申し上げます。補佐訪問時の内容を抜粋して掲載致します。

①1985-86年のRI会長であるエドワード・カドマン氏が「ロータリーウィズダム」に掲載した文がございますのでご紹介させていただきたいと思ひます。「誰もがこの世を変えようとしてロータリーに入ったのではありません。大部分の人は仲間が広がる機会を求めて入会したのです。ロータリーの深い影響はゆっくりとやってきました。私たちはゆっくりその精神に身をひたしていったのです」とさらにカドマン氏は「ロータリー精神は一言では表現できないけれども、友情、コミュニティサービス、あらゆる人の職業の理解、フェローシップを含むものであります。入会は派手なものではなく平々凡々としたものでしたが、徐々に変化がおり、単なる人であることからロータリアンへの変化が始まりました。ロータリアンは生まれるものでなく、かくして作られるものなのです。ロータリアンに変身していくゆっくりとした過程そのものに、大きな価値があるのであります。」このように述懐されております。そして、「ロータリアンとして歳月を重ねると、そこから受ける人間的温かさと愛情、これはロータリーに尽くし得ることより圧倒的に大きなものであることがわかってまいります。」と述べられ、「温かい人柄になれるということが一番大きいのであって、ほかに何が得られるかなどという議論をする気は毛頭ありません。」と申しておられます。



第4グループガバナー補佐  
**村田 貴紀**

本庄南

② 当地区の森パストガバナーは、フェローシップこそロータリーと言っており、人材の森で森林浴をするようなもので、ロータリーの森に分け入ると、それぞれのお人柄の香りが発散されており、その相乗効果の中で人格が知らず知らずの間に陶冶されると言っております。そして、ゴルフや観劇や宴会などで親睦を図ることはフェローシップのほんの入口に過ぎず、深い心の絆で結ばれ、認め合い許しあって一つのことを成就させたとき、戦友のような生涯忘れられない友情が育まれます。そういうフェローシップこそロータリーの核心であるとしています。(森 三郎著:『私のロータリー』より)

③ 「あなたは何故ロータリーにいるのですか?」という問いに対して、端的に真意を述べられたものがありましたのでご紹介致します。元RI会長であるロバート・バースさんが書かれたものです。ロバート・バースさんは、「心を開き、とらわれない目で見、人の力になることが出来る、そういうことが、人間として最高の人生を送るためには絶対に必要であるという信念、この信念を何時までも持ち続ける

ためには、同じような考えを持った友人がいて、これとさりげないそして本音で話せる日常会話を交わす。そのやりとりを通じて、その信念が益々強められることが必要である。これがロータリーにはある。だから、『私はロータリアンなのだ』とおっしゃっておられます。「ロータリーに力をつけられて、人生に対し暖かな見方ができるようになり、心が広くなり、他人の美点を見出せるようになり、喜びを分かち合おうとするふれあいの輪が広がったならば、それでロータリーは私の期待する全てをもたらしてくれたのです」と。そして、ロータリーはやわらかでしかも強い味わいを持ってくのではないかと思ひ、ロータリーは奉仕のための団体である。というよりも、最も人間らしい人間になろうとする人たちの集まりである、と言ったほうが自然でありますし、よい人たちの集まりであれば、よいことをしようという動きがそこから生まれてくることは当然であると申しております。ロータリーの歴史、いずれの時期においても、中心となるのはフェローシップであると考えます。今年度、11クラブを訪問させて頂き「フェローシップ」の大事さを痛感致しました。皆様のフェローシップへ感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



第4グループの会長・幹事



第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 **滝澤 功治**(神戸須磨RC)

**新しいロータリーの姿を求めて**

2019年は3年ごとに開催される規定審議会の年でした。規定審議会はロータリーの組織規定であるRI定款、RI細則と標準ロータリークラブ定款の改正を審議する場です。

2019年の規定審議会での最大のテーマはロータリーアクトのRI加盟の件でした。一旦否決されながらもRI理事会は翌日再審議の動議を提出し、これが認められた結果、あらためて議論の末、僅差で採択されました。この審議経過と結果は、この案件が賛成・反対の双方の立場から多くの議論を巻き起こす難しい問題であったということ、それでも何とかこれを成立させたいというRI理事会の強い意思を示しています。

歴史をひもとけば、このように規定審議会の場で激しい議論を巻き起こした案件として、女性の入会資格を認める件があります。1989年にシンガポールで開催された規定審議会でのこの提案は採択されました。過去5回の規定審議会でも否決

されながら、6回目ついに採択されたのです。当時の状況を伝える文書によれば、規定審議会場で、発言を求める代表議員がマイクの前に列をなし、賛成反対のそれぞれの立場から1時間半にもわたる激しい議論が繰り返されたとあります。この案件の審議の状況は地元シンガポールでも注目され、テレビのニュースで取り上げられたそうですし、審議会の傍聴席には多数の女性が陣取り、議論のやりとりに歓声が上がった場面もあったとのこと。このときの議論は、単に女性がロータリーにふさわしいかどうかというような情緒的な議論にとどまらず、これからのロータリーが女性の存在を無視して成り立つのか、ロータリーとしての発展はあるのかどうかということに焦点をあてて激しい論戦が繰り返されたとあります。

今回のロータリーアクトクラブのRI加盟問題もロータリーに大きな変革をもたらすものであるこ

とは確実です。これまでロータリーアクトはRIの青少年奉仕部門のプログラムの一つであり、ロータリークラブが提唱し、指導し、時には擁護するものでした。ロータリーアクトは将来のロータリアンとして位置づけられていたといえるでしょう。しかし今回の規定審議会でもロータリーアクトクラブのRI加盟が認められた結果、ロータリーアクトたちは、次世代のリーダーであるのみならず、今現在、私たちと共に世界を変える行動人の仲間になったというべきでしょう。このことはロータリークラブ、ロータリーアクトクラブの双方の意識に大きな転換を迫るものと思います。その後の10月理事会でロータリーアクトの年齢の上限が撤廃されたこともあり、ロータリーアクトクラブは今や真の自立に向けて、その活動全般において自主的な取り組みをしなくてはなりません。そのようなことのお手伝いをするのも、ロータリーの地域コーディネーターの役割だと考えています。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター **山下 皓三**(鹿児島西RC)

**公共イメージ向上とコミュニケーション計画について**

皆様の地区においてコミュニケーション計画は今期順調に進んでいますか。コミュニケーションの相手はガバナー補佐、地区委員会、クラブ、ロータリアン、シニアリーダーなどであったり、メディアやボランティア団体、または、入会候補者や地域社会の方々など様々な方がおられます。このような方々にどのような方法が伝わりやすいのでしょうか。まずは、伝える目的と内容はどのようなものか、誰から誰に、緊急性があるのか、いつ伝えるのかなど考えておくことは必要だと思います。地区内のコミュニケーションを強化することによって、クラブを活性化、目標を達成し、会員基盤の成長を促し、ロータリー財団の支援を拡大することによって、公共イメージの向上につながることは重要なことです。コミュニケーション計画において地区チーム同士の効果的なコミュニケーションは不可欠です。地区とクラブとのつながりを行う最も重要な役割を担うのはガバナー補佐です。クラブの活動をサポートするのは地区委員会です。ガバナー補佐と地区委員会が密に連携を取り地区とクラブが連絡を図ることによって戦略計画の推進ができるものと考えています。

地区チーム研修セミナーなどで地区のコミュニケーション計画を確認し、この計画に沿ってコミュニケーションを行っていくことが重要ではないでしょうか。コミュニケーション手段としては、地区ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、ブログ、ライン、そのほかの

ソーシャルメディアなどやニュースレター、そしてEメールなどIT、デジタル化、ネットワークの拡大などによってロータリーの変化がスピードを増しています。

第3地域の公共イメージ向上に関するアンケート調査で、クラブ広報戦略について、地区公共イメージ委員会ではクラブのプロジェクトや活動を地域社会の人びとに伝えることで、クラブの公共イメージを効果的に形づくっていると思っているもの、についての質問では、イベント行事、広報活動、ソーシャルメディア、クラブのウェブサイト、メディア対応、マーケティングの順でした。また、「世界・地域を変える行動人」のストーリーを伝える方法のコミュニケーション計画を立案していますか?の質問にはほとんどのクラブが立案していないようでした。この回答の結果からもコミュニケーション計画立案について検討していく必要性を感じました。

公共イメージと認識の向上を図る上でもコミュニケーション計画には重要な役割があります。ロータリーの「世界を変える行動人」公共イメージキャンペーンは「ロータリーとは何か」と聞かれたら、分かり易く、シンプルに答えるためのヒントとなるのが、ロータリーの3つのエッセンス(リーダーのネットワークへ、アイデアを広げる、行動する)です。これらのエッセンスを自分の言葉で伝えてみてはどうでしょうか。「ロータリアンとはどのような人びとか」と聞かれたら、専門的スキルと知識を社会や世界のために生かしたい

と考えている人です。「ロータリーの活動はどのような成果をもたらしているのか」と聞かれたら、ポリオ根絶の中心的活動を行い99.9%まで達成し、あと少しのところまで来ています。「ロータリーは他団体とどう違うのか」と聞かれたら、親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップの中核的価値観を兼ね備えた団体です。など、ロータリーのストーリーを様々な形を通じて、「行動人」としてのロータリー会員の姿にスポットを当てることでロータリーに対する認識と理解を高めることを目的としています。「世界を変える行動人」の広告はMy ROTARYのブランドリソースセンターからダウンロード可能な資料として利用できます。他にも、一般の人たちの注目を集め、ロータリーに関心を持ってもらうには、行動人としてのロータリアンを生き生きと映し出す写真が必要です。これらのリソースもブランドリソースセンターから利用できます。このキャンペーンで最も重要なことはクラブ自身の「世界を変える行動人」のストーリーを伝えることです。そして、「『ボイス』とビジュアルアイデンティティのガイド」も、クラブのストーリーを伝える参考となります。コミュニケーション計画においては、一方通行にならないように地区からもアイデアや成功例、懸案事項を連絡してください。地区からの情報は、他の地区の役に立つだけでなく、ロータリーのシニアリーダーや職員にも参考になります。今後ともよろしくお願いたします。



# 新入 会員

氏名 .....  
勤務先 .....  
役職 .....  
入会日 .....  
紹介者 .....



深谷東

**小林 陽司**  
小林建材店  
代表  
2020年1月10日  
向井 正義



所沢

**井花 佳彦**  
(株)ネクサス・アイ  
取締役副社長  
2020年1月14日  
梅沢 定彦



所沢西

**宮崎 光正**  
(株)ミヤザキ  
代表取締役  
2020年1月14日  
新井孝敏 木下精基



飯能

**大津 力**  
赤門塾(株)  
代表取締役社長  
2020年1月15日  
吉田 行男



坂戸  
ざつき

**友田 雅明**  
(有)雅 ブーケ・ド・ピアンカ  
代表取締役  
2020年1月15日  
梅澤 将明



熊谷  
龍原

**正田 一成**  
(株)アトリエ KC  
代表取締役  
2020年1月22日  
茂木祐一 國分忠義

## 訃報

謹んで哀悼の意を表し、心から  
ご冥福をお祈り申し上げます。

### 細沼 哲夫様



新座

ご逝去日  
2020年1月25日  
(享年 83歳)

ロータリー歴  
1984年8月7日入会  
(在籍 35年)

### 橋本 啓一様



新座

ご逝去日  
2020年2月15日  
(享年 82歳)

ロータリー歴  
1987年1月6日入会  
(在籍 33年)

# 表彰

表彰記号の凡例は  
9月号の裏表紙を  
ご覧下さい。



MPHF



川越

**阿部 好弘**

MPHF



新座

**増渕 和夫**

PHF



新座

**萩原 勇**

PHS



熊谷

**前嶋 修身**

MPHF



熊谷

**染谷 政示**

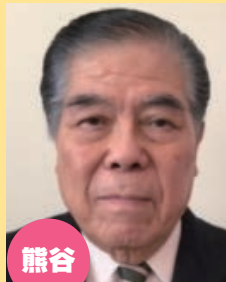
MPHF



熊谷

**小林 肇**

MPHF



熊谷

**吉田 嘉高**

PHF



熊谷

**中島 正義**

PHF



熊谷

**石垣 伸明**

PHF



熊谷

**柿沼 伸幸**

PHF



熊谷

**田野 隆広**

PHF



熊谷

**田中 哲夫**

PHF



所沢  
中央

**柴 栄一**

PHF



所沢  
中央

**田中 由晃**

米山 3  
目



越生  
毛呂

**市川 治子**

米山 4  
目



所沢  
中央

**引間 維一**

## 会員数・出席率 (2020年2月)

クラブ名	例 会 数	出席率 (%)		会員数 (人)										女性 会員
		当 月	通 算	年 初 (7/↓)	1 月 末 現 在	1 月 入 会 数	1 月 退 会 者	本 年 度 入 会 数	本 年 度 退 会 者	1 月 度 純 増 数	本 年 度 純 増 数	1 月 度 純 増 数	本 年 度 純 増 数	
<b>第1グループ (11RC)</b>														
川越	3	72.27	76.61	94	96	2	0	7	5	2	2	2	2	
東松山	3	64.78	59.36	25	24	0	0	0	1	0	-1	1	1	
小川	3	80.95	80.65	9	8	0	0	0	1	0	-1	2	2	
坂戸	4	60.35	75.61	31	31	0	0	0	0	0	0	1	1	
越生毛呂	3	60.90	59.81	17	17	0	0	0	0	0	0	1	1	
川越小江戸	3	67.58	75.81	15	14	0	1	0	1	-1	-1	0	0	
川越西	2	83.34	77.92	17	19	2	0	2	0	2	2	1	1	
鶴ヶ島	4	93.00	93.53	29	29	0	0	1	1	0	0	3	3	
川越中央	3	71.86	72.48	28	29	1	0	3	2	1	1	0	0	
坂戸さつき	2	65.00	71.35	20	20	0	0	1	1	0	0	4	4	
東松山むさし	3	83.50	85.95	43	44	1	0	1	0	1	1	6	6	
小計	33	73.05	75.37	328	331	6	1	15	12	5	3	21	21	
<b>第2グループ (7RC)</b>														
朝霞	2	97.92	97.74	28	27	0	1	0	1	-1	-1	0	0	
志木	4	91.41	94.62	47	46	0	1	1	2	-1	-1	2	2	
富士見	3	80.39	80.34	45	42	0	0	0	3	0	-3	0	0	
新座	3	86.36	81.38	29	28	0	0	0	1	0	-1	2	2	
和光	3	100.00	82.29	6	5	0	0	0	1	0	-1	2	2	
朝霞キャロット	2	90.91	83.64	12	11	0	0	0	1	0	-1	0	0	
新座こぶし	3	87.50	88.04	8	8	0	0	0	0	0	0	2	2	
小計	20	90.64	86.86	175	167	0	2	1	9	-2	-8	8	8	
<b>第3グループ (11RC)</b>														
入間	4	79.10	74.33	42	40	0	0	0	2	0	-2	2	2	
所沢	2	78.18	73.57	58	59	0	0	2	1	0	1	3	3	
飯能	3	87.57	89.40	60	59	0	0	2	3	0	-1	0	0	
新所沢	3	73.00	85.95	20	23	0	0	3	0	0	3	2	2	
日高	3	68.75	61.81	19	19	0	0	0	0	0	0	3	3	
所沢西	2	87.00	86.95	30	31	0	0	1	0	0	1	3	3	
新狭山	3	71.73	72.13	15	16	0	0	2	1	0	1	0	0	
所沢東	4	83.72	87.44	44	45	0	0	2	1	0	1	2	2	
入間南	3	77.77	83.73	43	43	0	0	0	0	0	0	0	0	
所沢中央	3	89.30	88.33	24	23	0	0	0	1	0	-1	2	2	
狭山中央	3	85.26	83.54	30	28	1	0	1	3	1	-2	6	6	
小計	33	80.13	80.65	385	386	1	0	13	12	1	1	23	23	
<b>第4グループ (11RC)</b>														
深谷	2	68.47	68.12	57	58	0	0	1	0	0	1	11	11	
本庄	3	69.60	69.29	78	78	0	0	1	1	0	0	5	5	
秩父	2	71.00	78.85	50	51	1	1	3	2	0	1	1	1	
寄居	2	92.58	87.20	23	27	0	0	4	0	0	4	0	0	
児玉	1	100.00	100.00	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡部	3	100.00	93.45	14	14	1	0	1	1	1	0	1	1	
深谷東	3	59.10	65.62	67	68	0	0	3	2	0	1	0	0	
川本	2	79.00	80.63	8	7	0	0	0	1	0	-1	0	0	
皆野・長瀨	3	78.80	77.63	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	
本庄南	4	86.66	77.87	15	15	0	0	1	1	0	0	2	2	
深谷ノース	3	78.33	80.99	32	30	0	0	0	2	0	-2	1	1	
小計	28	80.32	79.97	358	362	2	1	14	10	1	4	21	21	
<b>第5グループ (10RC)</b>														
熊谷	4	79.60	72.89	89	92	0	0	5	2	0	3	3	3	
行田	3	42.50	50.30	64	63	0	0	1	2	0	-1	5	5	
羽生	4	80.72	69.01	48	48	0	0	0	0	0	0	4	4	
加須	2	76.14	82.09	26	25	0	0	0	1	0	-1	1	1	
熊谷西	3	67.00	73.13	9	10	0	0	2	1	0	1	0	0	
行田さくら	3	70.00	65.43	50	52	0	0	3	1	0	2	2	2	
熊谷東	3	66.70	68.00	28	27	0	0	0	1	0	-1	2	2	
吹上	1	50.00	81.60	7	8	0	0	2	1	0	1	2	2	
熊谷籠原	5	87.41	81.20	28	29	0	0	2	1	0	1	0	0	
熊谷南	2	41.65	51.42	22	24	0	0	2	0	0	2	3	3	
小計	30	66.17	69.51	371	378	0	0	17	10	0	7	22	22	

50RC	男性会員数	77.29	77.98	1525	1529	8	3	55	51	5	4
	女性会員数			92	95	1	1	5	2	0	3
	合計			1617	1624	9	4	60	53	5	7

## スケジュール (2020年4-6月)



4月	5 (日)	R米山記念奨学委員会 / 新奨学生オリエンテーション・カウンセラー会議	中止
	18 (土)	地区大会 (第1日目)	中止
	19 (日)	地区大会 (第2日目)	中止
	25 (日)	ロータリー財団委員会 / 第4回オリエンテーション	中止
	26 (日)	地区研修協議会	中止
5月	30 (木)	ロータリー財団委員会 / 「R財団奨学生」募集申請書地区締切	
	8 (金)	ロータリー財団委員会 / 第1次選考試験 (申請書類審査)	
	11 (金)	ロータリー財団委員会 / 第1次合格通知発表	
	15 (金)	ロータリー財団委員会 / 知事表敬訪問 (2020 ~ 21年度派遣R財団奨学生)	
	16 (土)	ロータリー財団委員会 / 第2次選考試験 (語学試験・ロータリーの知識・面接) 選考会議	
	18 (月)	ロータリー財団委員会 / 第2次合格通知発表	
	23 (土)	R米山記念奨学委員会 / ロータリーの森清掃活動 (日程未定)	
	31 (日)	2019 ~ 20年度地区補助金報告書提出締切 2020 ~ 21年度地区補助金申請書提出締切 クラブ覚書 (MOU) 提出締切	
	未定	青少年奉仕委員会 / 閉講式 (第10回オリエンテーション)	
	未定	青少年奉仕委員会 / 埼玉県知事	
6月	6 ~ 10 (土~水)	ロータリー国際大会	中止
	7 (日)	R米山記念奨学委員会 / 学友総会	
	20 (土)	ロータリー財団委員会 / 合格者アプリケーションガイダンス 第5回オリエンテーション・歓迎迎会 (2020 ~ 21年度派遣 R財団奨学生) (2021 ~ 22年度派遣 R財団奨学候補生)	
	未定	青少年奉仕委員会 / 閉講式 (第10回オリエンテーション)	
	未定	青少年奉仕委員会 / 埼玉県知事公式訪問	

**4月18日、19日の地区大会中止**  
**4月26日の地区研修協議会中止 DVD等で代替**  
**6月6日~10日のロータリー国際大会(ハワイ州ホノルル)中止**  
 となりました。

世界が新型コロナウイルスに振り回されています。各クラブに於かれましても、例会の中止や、奉仕事業の中止或いは延期等、大きな影響があるとお聞きしております。又、ロータリアンの皆様の活躍されている企業運営や、経済活動に、被害が発生している事ご推察いたします。

今後どのように環境が変化していくか予測できませんが、皆様も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人混みを避け、手洗いをし、一緒にこの危機を乗り越えましょう。 地区幹事 藤倉 武

**ガバナー月信 第10号** 2020年4月1日発行

今月の表紙:  
 田端 都女子 第3グループ  会員 (左)  
 東 美栄 第3グループ  会長 (右)

**2019-2020年度ガバナー 鈴木 秀憲**

国際ロータリー第2570地区 地区事務所  
 〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号  
 ガーデンホテル紫雲閣内

TEL (0493) 21-2570 FAX (0493) 21-2571  
 E-mail = d-office@mail.rid2570.gr.jp  
 Website = https://www.rid2570.gr.jp  
 月信原稿送信先 = info2019@rid2570.gr.jp